



窪田弘子 議員

下水道料金を従量制に

～電気代のように使った分だけ払う～

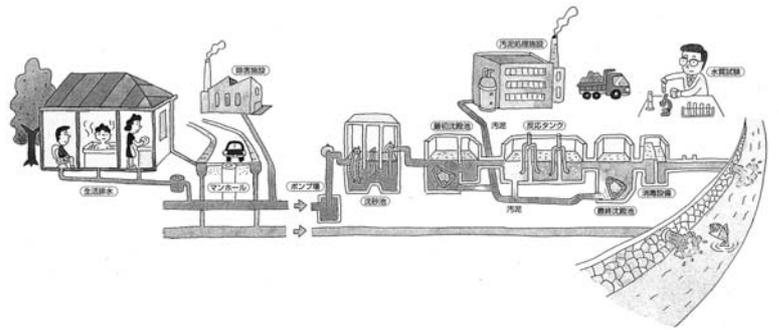
初めての料金改定から3年が過ぎ見直す時だが、世間の情勢から難しいと2年先送りした。この際、ほとんどの自治体がやっている従量制に池田町も切り替えたらどうか。支払う側の公平感・他市町との比較がしやすい事・将来の値上げも抵抗感少なくいけるなど、メリットは多い。今の人数割りで料金改定は無理ではないか。

下水道の維持管理費への町の持ち出し分は、年平均1億円という現実がある。

川の水がきれいな、住みよい環境・快適な生活には下水道は不可欠、だから日本中で進めている。少々の値上げはやむなしと町民に理解されるよう啓蒙されたい。

町長

維持管理費は何か使用料でお願いしたいと考えている。地区懇談会などで財政計画を示し現状を知って頂き協力してもらえよう進めます。従量制については2年後に向かって努力します。



早く「下水道全町完備」になるといいね

白鳥・深歩谷の農集地区でも、川がきれいになったと住民は実感してみえる。処理容量はあるのだから他地区が入るといえる話ではないものか。接続率が上がるようあらゆる手段を考えないと。

町長

補助金や処理施設増強の費用対効果など厳しいが情報を見ながら検討する。

町民がAED(救命器)を使えるように

道の駅の緑地帯は町民参加で植樹をするいい機会だ。南部公園やふれあい街道ぞいの耕作放棄地など植える場所は町が準備し、樹木は基本的に町民の植樹なり記念植樹にしたらどうか。

心臓に電気ショックをあたえ命を救うAEDが町内の公共施設に19台ある。救急車到着までに使えば、生存率・社会復帰率は数倍上がる。1基30万円のすぐれもの、講習会をもっと開き、みんなが使えるように。池田公園・南部公園にぜひ設置されたい。

町長

講習会は毎年継続して実施する。池田公園には設置する。



役場ロビーにあるAED
救急車到着までの5分が生死を分ける事もある

町民、記念植樹のすすめ

町長

提案を受けながら進めるが、中学3年生の卒業記念に各クラス1本づつ大木を植えたら考えている。